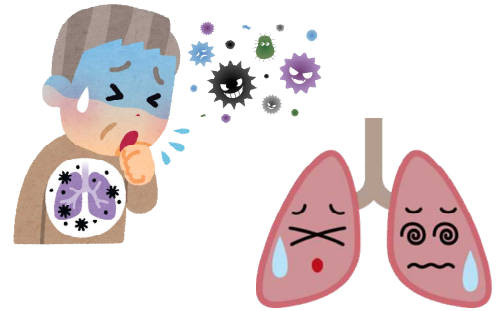


コロナも心配だけど…。

結核のことも知ってください！

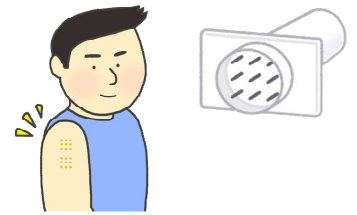
「結核」ってどんな病気？

「結核菌」という細菌が体の中に入り込んでいろいろな悪さをします。入り込むのが一番多いところは「肺」です。肺の中で炎症を起こさせ、組織をどろどろに溶かして穴を開け、そこに菌が住みついてしまうのです。



昔はみんな持っていた？

終戦間もない頃は日本人の半分以上は結核菌を持っていたそうです。1951年(昭和26年)からBCG予防接種を全員に行うようになったことや、住みよい環境、キレイになったことで菌を持っている人がどんどん少なくなりました。



それなら今は大丈夫なの？

結核菌はなかなかしぶとい菌なので、「結核」の症状を発症しなくても体の中に眠っていたりするので。普段は自分の体の抵抗力(免疫)で押さえつけていますが、HIV・糖尿病などの持病で免疫力が弱まると発症する可能性が高まります。

どのように感染するの？

肺の中で活動中の結核菌を持っている人が咳やくしゃみをする、その「しぶき」の中にある結核菌が空気中ふわふわと漂います。その空気を他の人が吸い込むことで感染します。でも、吸い込んだ人が健康で免疫力が十分であればある程度は退治できますし、感染しても発病するとは限りません。



感染するとどうなるの？

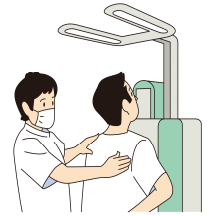
次のような症状が出ます。

- ① 咳・たんが続く(2週間以上)
- ② 熱っぽい、体がだるいのが続く(2週間以上)
- ③ 体重が減る
- ④ 寝汗をかく
- ⑤ 食欲が無くなる



1. 結核を早く見つけるためには

年1回は必ずレントゲンを受けましょう！！



台東区や荒川区、東京都で結核検診を毎年約5回行っています。日程について、そのつど「ひろば」でお知らせしています。

台東区の結核検診が 6 月 28 日(月)9:00~10:00 実施
予定です。詳しくは 6 月の「ひろば」でお知らせします。
お土産があるかもしれません！ぜひ来てくださいね！！



2. 結核と診断されたら

医師の指示どおりに薬を飲みましょう！！



通常は、半年から9か月ほど複数の薬を組み合わせさせて飲むことになります。自分の判断で勝手に薬を飲むのを止めてしまうと、結核菌が薬に対する耐性を持つ「耐性結核菌」となり、通常よりも長期間薬を服用しなければならない等、治療に時間がかかってしまう場合があります。

3. 薬を飲み終わったあとも

治ったと思って途中でやめないで！

定期的な検査があるので受診を忘れずに！！

薬を飲み終わった後は、レントゲン検査や喀痰検査(たんの中に菌がないか調べます)を行い、医師から「治療を終了します」と言われるまで受診を続けましょう。

治療終了後2年間は再発の可能性が高いと言われています。きちんと医師の診察を受けましょう。



◆ 娯楽室・敬老室の利用を一時休止しています ◆

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、東京都に緊急事態宣言が発令されました。

このため、センター本館地下1階の娯楽室及び分館の敬老室は、下記の期間で利用を休止しています。

利用者の皆さまには、ご不便をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

休止期間 4月26日(月)から5月11日(火)まで